

研究機関：広島大学

研究課題名	人工知能を用いた結膜スミア内の細胞同定
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間泰一郎
研究期間	(倫理委員会承認後) ~ 2023年3月31日
対象者	2020年12月から2023年3月31日に、広島大学病院眼科で結膜炎をはじめとする前眼部炎症性疾患による治療を受けられた患者。
意義・目的	結膜炎をはじめとする前眼部炎症性疾患を鑑別するにあたり、結膜スミア（眼脂など）を採取し、その標本内の血球細胞の種類や個数が診断に重要となる。一般的には人間が顕微鏡下で判断するが、習熟に時間を要する。本研究では、人工知能を用いて代替可能かどうかについて検討する。
方法	本研究では、保険適応範囲内で臨床検査として実施した検体を利用する。具体的には眼脂のある患者さんから眼脂の画像を取得する。取得した画像をAIに学区宗佐瀬 Deep Learning で代替可能かを検討する。
共同研究機関	ツカザキ病院 高知大学 瞳クリニック 株式会社 Xeno-hoc ツカザキ病院に情報を集め、ツカザキ病院（研究責任者 田邊真生）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学 准教授 近間泰一郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5247 広島大学病院眼科 准教授 近間 泰一郎